HATSUTA

住宅用 強化液消火器

1Lタイプ KLZ-1000

国家検定合格品

このたびは、ハツタ住宅用強化液消火器をお買い求めいただきまことにありがとうございました。設置、ご使用される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい設置および、正しい使い方をご理解してください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

（お買い上げ日　　年　　月　　日）

株式会社 初田製作所

●消火器はあくまで初期消火に威力を発揮しますが、火災規模、状況等により、どんな火災でも消火できるとは限りません。そのため、正しい使用方法に基づいて消火器を使用したにも拘らず消火できなかったことによる人的、物的損害についての賠償の責はご容赦願います。

消火器の回収・リサイクルについて

※消火器を回収、廃棄する際は、お買い求めになった販売店又は製造元にご相談ください。
　お買い上げになった販売店が不明な場合には以下の電話番号にお問い合せください。
※なお回収、廃棄処理には、費用がかかりますので有料処理となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

回収・リサイクル相談窓口　お問い合せ・ご相談はフリーダイヤルでどうぞ　**0120-82-2306**
電話受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
http://ferecycle.jp

製造元 株式会社 初田製作所
本社　〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3丁目5番地
http://www.hatsuta.co.jp/abc

アフターサービスについて

営業開発部　住宅防災室
TEL 03-5471-7415　FAX 03-5471-7633
受付時間 10:00～12:00, 13:00～17:00（土・日・祝日を除く）

販売店

取説169-1111

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は「▲危険」「▲警告」「▲注意」に区分していますが、誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつくものを特に「▲危険」「▲警告」の欄で記載しています。しかし「▲ 注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険　※取扱い上本体容器の破裂により人身事故が発生し、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。

警告　※取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

注意　※取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合。

各部名称

適応火災

この消火器は、図示する火災に有効です。

木材・紙・繊維等が燃える火災

大豆油等が燃える火災

石油ストーブの灯油の引火によって燃える火災

電気器具のショート等によって燃える火災

仕　様

型式承認番号	消第23～189号
使用温度範囲	−20～+40℃
使用圧力範囲	0.7～0.98MPa
放射時間	約22秒
放射距離	4～6m
消火薬剤等の名称及び量	強化液1L（約1.39kg）

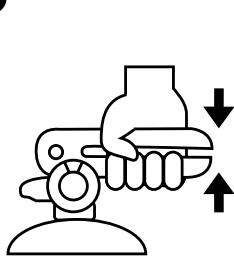
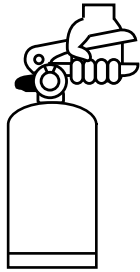
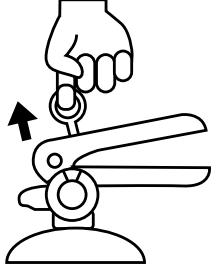
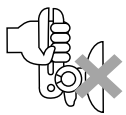
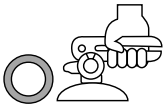
危険

HATSUTA　消火器は圧力容器です。取扱説明書をよく読んで正しくご使用ください。

使用方法

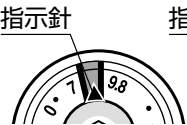
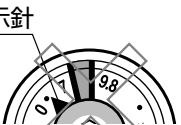
1 安全栓を引き抜く

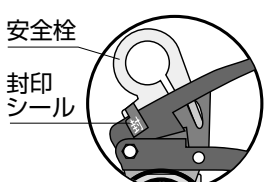
2 ノズルを火元に向ける

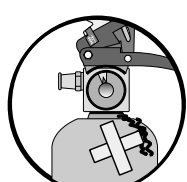
3 レバーをしっかり握る

注意

※放射時には本体容器を垂直にして使用してください。斜めや横にすると放射の状態が悪くなります。絶対に逆さにして使用しないでください。
※操作レバーを離すと放射は止まります。
※持ち運びは、提げレバーを持って移動してください。
※操作レバーを握る際、指を挟まないように注意してください。
※絶対に人に向けて放射しないでください。危害発生を招く恐れがあります。
※避難経路を確保しながら消火してください。
※ためし放射はしないでください。使用できなくなります。

維持管理（点検）

万が一に備えていつでも確実に使用できるように、3カ月に一度外観を観察してください。異常を発見した場合は、速やかに製造元に連絡し、処置をしてください。

◆圧力計

ときどき圧力計を見てください。圧力計の赤色指示針が緑色範囲内にあれば正常です。

◆安全栓・封印シール

封印シールが破れていると使用済の恐れがあります。安全栓が外れたり、傾いていないか確認してください。

◆本体容器

錆、傷、キャップの緩み等があると、本体容器が破裂の恐れがあります。

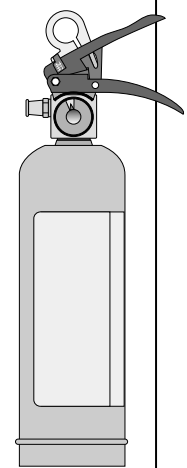
注意

◎黄色い安全栓が付いていない消火器。
◎封印シールが破れている消火器。
◎指示圧力計の赤色指示針が緑色範囲にない消火器。すでに使用されている恐れがあります。
◎本体容器に錆、傷、キャップの緩みがある消火器。速やかに専門店に連絡し新しい消火器に交換してください。

全般的な注意事項

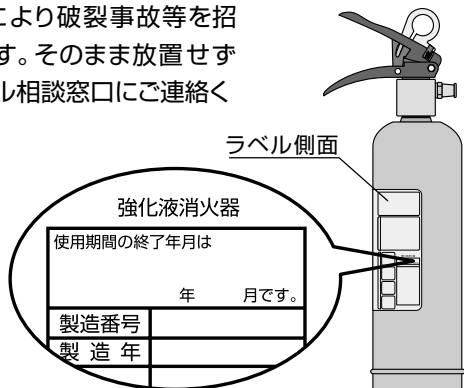
危険

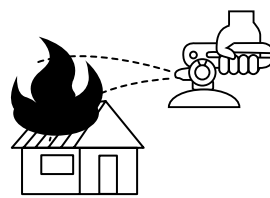
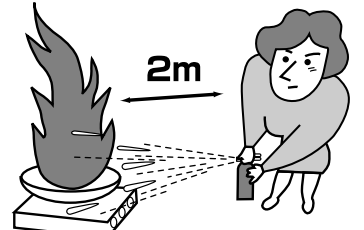
◎**消火器の本体容器を観察してください。**
本体容器に、錆、傷、キャップの緩みのあるものは、破裂等により人身事故発生の恐れがあります。絶対に使用しないでください。訓練用としての使用も避けてください。

警告

◎**消火器は圧力容器です。**
叩いたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。本体容器の破裂等により人身事故発生の恐れがあります。

◎**絶対に分解しないでください。**
本体容器やネジ部は勝手に緩めたり、分解しないでください。廃棄の際は専門業者か回収・リサイクル相談窓口にお問い合せください。

◎**適応火災を確認してください。**
適応火災はラベルの表示マークと、この取扱説明書で確認してください。燃焼物によっては適・不適があります。

◎**使用期間の終了年月は過ぎていませんか。**
ラベルに表示されている使用期間の終了年月を過ぎた消火器は、耐圧等の劣化により破裂事故等を招く恐れがあります。そのまま放置せず回収・リサイクル相談窓口にご連絡ください。

消火作業時の注意事項

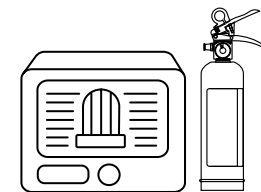
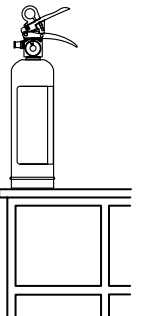
無理な消火は危険！

火には近づきすぎない！

警告

◎**天ぷら油火災は火に近づきすぎないでください。**
※消火に当たっては、火に近づきすぎないように注意してください。特に天ぷら油火災では、鍋から近いと放射の勢いで油が飛び散ることがあります。火元より、2m前後離れて油面および油に消火薬剤がかかるように全量を放射し消火してください。
※いったん消火が出来ても場合によっては、再び火がつくことがあります。消火薬剤は必ず全量放射してください。
※消火に際しては、逃げ場を確保して消火してください。
※屋外での消火は風上より消火してください。

注意

◎**消火器は初期消火の器具です。**
※消火能力や範囲にも限度があります。火災の大きさ、消火の時期、適応火災の条件の違いにより消火できない場合があります。無理な消火作業を続けると、火災の拡大を招く恐れがあり、消防署に連絡のうえ周囲の人に声をかけ、応援を求めるよう心がけてください。

設置について

温度の高い所にはおかない！

高い所、落ちやすい所にはおかない！

注意

※上から物が落ち損傷の受けやすい場所への設置は避けてください。
※棚の上等、落ちやすい場所への設置は避けてください。
※壁面に取り付ける際は、専門店にご相談ください。
※温度の高くなるところ（ガスコンロ、ストーブ等発熱器具の近く等）への設置は避けてください。
※押入れ等、いざというときに取り出しにくい場所への設置は避けてください。
※直接避難に支障のある場所への設置は避けてください。
※幼児の手の届かない場所に設置してください。
※地震や震動で消火器が転倒、落下しないよう設置してください。
※腐食し易い場所、湿気の多い場所、潮風や風雨にさらされる場所、直射日光の当たる場所に設置しないでください。
※濡れた床や地面に直接置かないでください。
※使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。

使用後の処理及び注意事項について

注意

この消火器は詰め替えできません。
一度放射した消火器は新品と交換してください。

※電気火災消火後は、元電源が切れているか確認の上速やかに清掃してください。消火薬剤をそのまま放置しておくと、電気器具等の絶縁低下の原因となります。
※消火薬剤が目、皮膚、衣類等に付着した時は速やかに水で洗い流してください。皮膚の痛みや異常、目の充血や痛みを感じたら、速やかに医師の診察を受けてください。
※消火薬剤のかかった食べ物は、絶対に食べないでください。
※ガスが関連した火災では、消火後必ず元栓を締めてください。

※使用後は速やかに回収・リサイクル相談窓口に依頼してください。
※消火器の回収・廃棄後は、お近くの販売店にて新しい消火器をご購入ください。